

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

2014. 4. 2 豊橋教務課

学習・教育目標	①大学における学習・研究に必要な基礎的知識や技能を身に付けることができる。 ②論理的な思考方法を身に付けることができる。 ③総合的な判断力を身に付けることができる。 ④グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。 ⑤ I T時代に必要な情報処理能力を身に付けることができる。 ⑥生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	--

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWA01	Reading	必修	1年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、文法の基礎固めを行い、その知識を活用しながら講読する英文の内容をより正確に把握する能力を身につける	○	○		◎		
TWA02	TOEIC	必修	1年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、TOEICの出題形式に慣れ、語彙や慣用表現を学び、ListeningおよびReadingセクションではすばやく必要な情報を把握する能力を身につける	○	○		◎		
TWA03	Communicative English I	必修	1年	外国語分野(英語)において国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、発信的言語能力(話す書く技能)を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA04	Communicative English II	必修	1年	外国語分野(英語)において国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。発信的言語能力(話す書く技能)を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA05	Practical English I	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA06	Practical English II	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける、聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA07	Advanced Reading I	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA08	Advanced Reading II	必修	2年	外国語分野(英語)における国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA09	Current English I	選択	2年	外国語分野(英語)における時事英語を通じ、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA10	Current English II	選択	2年	外国語分野(英語)における時事英語を通じ、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWA11	Communication Skills I	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWA12	Communication Skills II	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWA13	Communication Skills III	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWA14	Communication Skills IV	選択	1年	外国語分野(英語)における多様な言語活動を通じて英語の運用能力を身につける	○	○		◎		
TWB01	入門中国語 I	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB02	入門中国語 II	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB03	基礎中国語 I	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB04	基礎中国語 II	必修	1年	外国語分野(中国語)における正しい発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB05	応用中国語 I	必修	2年	外国語分野(中国語)における入門・基礎で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする、実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB06	応用中国語 II	必修	2年	外国語分野(中国語)における入門・基礎で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする、実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB07	総合中国語 I	必修	2年	外国語分野(中国語)における講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB08	総合中国語 II	必修	2年	外国語分野(中国語)における講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWB09	中国語会話(初級)Ⅰ	選 択	1 年	外国語分野(中国語)における発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB10	中国語会話(初級)Ⅱ	選 択	1 年	外国語分野(中国語)における発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB11	中国語会話(中級)Ⅰ	選 択	2 年	外国語分野(中国語)における表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す、発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB12	中国語会話(中級)Ⅱ	選 択	2 年	外国語分野(中国語)における表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す、発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB13	コミュニケーション中国語ⅠA	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB14	コミュニケーション中国語ⅠB	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB15	コミュニケーション中国語ⅡA	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWB16	コミュニケーション中国語ⅡB	選 択	3 年	外国語分野(中国語)における文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWC01	入門フランス語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における表現の最初歩(自己紹介、あいさつ、自分や家族について簡単に表現すること)を身につける	○	○		◎		
TWC02	入門フランス語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における表現の初歩(自分について、また自分の経験や予定について語るようにすることができる)を身につける	○	○		◎		
TWC03	基礎フランス語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における文字と発音について学び、文法の基礎(「現在」の事象について理解、表現すること)を身につける	○	○		◎		
TWC04	基礎フランス語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(フランス語)における文法の基礎(「現在」のみではなく「過去」、「未来」の事象についても理解、表現できる)を身につける	○	○		◎		
TWC05	応用フランス語Ⅰ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における初級文法をさらに推し進め、簡易な文章が読める程度の語学力獲得を目指す	○	○		◎		
TWC06	応用フランス語Ⅱ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における初級文法の確認と復習をし、辞書を用いて文章が読めるレベルまでの読解能力を身につける	○	○		◎		
TWC07	総合フランス語Ⅰ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する	○	○		◎		
TWC08	総合フランス語Ⅱ	必 修	2 年	外国語分野(フランス語)における「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する	○	○		◎		
TWC09	フランス語会話(初級)Ⅰ	選 択	1 年	外国語分野(フランス語)における会話の最初歩(最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC10	フランス語会話(初級)Ⅱ	選 択	1 年	外国語分野(フランス語)における会話の最初歩(最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC11	フランス語会話(中級)Ⅰ	選 択	2 年	外国語分野(フランス語)における会話の初歩(簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC12	フランス語会話(中級)Ⅱ	選 択	2 年	外国語分野(フランス語)における会話の初歩(簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる)を身につける	○	○		◎		
TWC13	コミュニケーションフランス語ⅠA	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWC14	コミュニケーションフランス語ⅠB	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWC15	コミュニケーションフランス語ⅡA	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWC16	コミュニケーションフランス語ⅡB	選 択	3 年	フランス語における基本的なコミュニケーション能力(自分の身の回りの事柄について表現することができる)を身につける	○	○		◎		
TWD01	入門ドイツ語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における文字と発音について学び、視聴覚機器を利用しながらリスニングおよび発音練習などを繰り返す、基本語彙についても学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD02	入門ドイツ語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における文字と発音練習を基礎として、いろいろな状況や場面における簡単な会話方法を通じ基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD03	基礎ドイツ語Ⅰ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD04	基礎ドイツ語Ⅱ	必 修	1 年	外国語分野(ドイツ語)における初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD05	応用ドイツ語Ⅰ	必 修	2 年	外国語分野(ドイツ語)における入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD06	応用ドイツ語Ⅱ	必 修	2 年	外国語分野(ドイツ語)における入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWD07	総合ドイツ語Ⅰ	必修	2年	外国語分野(ドイツ語)における聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD08	総合ドイツ語Ⅱ	必修	2年	外国語分野(ドイツ語)における聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD09	ドイツ語会話(初級)Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話の運用能力、異文化への理解を深めるながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD10	ドイツ語会話(初級)Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話の運用能力、異文化への理解を深めるながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD11	ドイツ語会話(中級)Ⅰ	選択	3年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWD12	ドイツ語会話(中級)Ⅱ	選択	3年	外国語分野(ドイツ語)における日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE01	入門ロシア語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)における簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE02	入門ロシア語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)における簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE03	基礎ロシア語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)におけるキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE04	基礎ロシア語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ロシア語)におけるキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE05	応用ロシア語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における辞書と活用表を使用しながら、簡単なテキストが読めるようになることを目指し、同時に、ロシア文化に触れながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE06	応用ロシア語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における辞書の使い方に慣れ、ロシア語の初級および中級レベルのテキストを読みこなす読解力を養成しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE07	総合ロシア語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく、特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWE08	総合ロシア語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(ロシア語)における入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく、特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF01	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)におけるハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF02	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)におけるハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF03	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF04	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWF05	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWF06	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWF07	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWF08	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	選択	2年	外国語分野(韓国・朝鮮語)における入門・基礎で習得した語学能力を向上させる	○	○		◎		
TWG01	入門ポルトガル語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における文字、アルファベット、発音及びアクセントからはじまり、数詞、時間、日付、指示詞、所有代名詞、単数形・複数形、形容詞、前置詞、疑問詞、動詞の活用法等、一つのフレーズを作成する為のパーツを一つずつ学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWG02	入門ポルトガル語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における表現幅及びニュアンスに対する理解を広げ、あらゆるもの一時的な状態、精神的及び身体的状態、人物、生物、物質の所在地、進行形、天気、場所を示す副詞等を学ぶ、一つの不規則動詞による幾つかの異なるニュアンス及び意味合い(用法、活用幅)を学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWG03	基礎ポルトガル語Ⅰ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ、目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWG04	基礎ポルトガル語Ⅱ	選択	1年	外国語分野(ポルトガル語)における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ、目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWH01	日本語・表現Ⅰ	必修	1年	外国語分野(日本語)における読み・書きの能力だけでなく、異文化接触体験を通して自己を確立する能力を培っていくことも狙い基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH02	日本語・表現Ⅱ	必修	1年	外国語分野(日本語)における基礎文型とその応用文型を体系的に学習する一方で、レポートや論文作成に対応できるように、日本語の書く力を重点的に身につける	○	○		◎		
TWH03	日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	必修	1年	外国語分野(日本語)における高度な情報や知識を得ることができるよう、論理的思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を大量に徹底的に読みこなしながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH04	日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	必修	1年	外国語分野(日本語)における高度な情報や知識を得ることができるよう、論理的思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を大量に徹底的に読みこなしながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH05	日本語・総合Ⅰ	必修	2年	外国語分野(日本語)におけるアカデミックなレベルでの論理的表現の習得を体系的に目指す、日々の生活において、自己の置かれている状況を説明し、自らの手で問題解決にあたることのできる社会的総合的な日本語能力を身につける	○	○		◎		
TWH06	日本語・総合Ⅱ	必修	2年	外国語分野(日本語)における論理的表現の習得並びに発表能力を高めることをめざす、日々の生活において、自己の置かれている状況を説明し、自らの手で問題解決にあたることのできる社会的総合的な日本語能力を身につける	○	○		◎		
TWH07	日本語・論文技術(応用)Ⅰ	必修	2年	外国語分野(日本語)における論理的な文章のリーディング・リテラシーをさらに磨いていく、書くためのスキルの向上も徹底する、特に「文体」「文作法の技法」「文構成」の分野で「基礎」で習得したことが定着する能力を身につける	○	○		◎		
TWH08	日本語・論文技術(応用)Ⅱ	必修	2年	外国語分野(日本語)における論理的な文章のリーディング・リテラシーをさらに磨いていく、書くためのスキルの向上も徹底する、特に「文体」「文作法の技法」「文構成」の分野で「基礎」で習得したことが定着する能力を身につける	○	○		◎		
TWH09	アカデミック日本語Ⅰ	選択	3年	外国語分野(日本語)におけるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、論理的な発表ができるようにする、パワーポイントを活用し、「説明のためのスピーチ」「意見表明のスピーチ」「提言のスピーチ」などのスピーチ力やレジュメ作りを重点的に行いながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH10	アカデミック日本語Ⅱ	選択	3年	外国語分野(日本語)におけるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、一定の分量の論文・レポートが正確に書けるようにする、テーマ設定をどのようにするか、また、文体や文構成のために何が必要か、多種の資料を読み合わせタスクも併用しながら基礎的語学能力を身につける	○	○		◎		
TWH11	ビジネス日本語Ⅰ	選択	3年	外国語分野(日本語)における待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ、地域や社会の構成員として日本人との相互作用を経ながら、自由で的確な表現力を身につけ、自己実現を図り、その基盤となるよう多様なシチュエーションを準備しコミュニケーション力を身につける	○	○		◎		
TWH12	ビジネス日本語Ⅱ	選択	3年	外国語分野(日本語)における待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ、電話のかけ方や訪問、依頼、断り、アドバイス、アポの変更、企業訪問用のメール作成の作業などを通し、日本社会で協働できる力を身につける	○	○		◎		
TWJ01	世界の言語Ⅰ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				
TWJ02	世界の言語Ⅱ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				
TWJ03	古典言語Ⅰ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				
TWJ04	古典言語Ⅱ	選択	2年	外国語分野における基礎的語学能力を身につける	◎	○				

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWK01	数理科学	選 択	1 年	数理・情報分野における数学の基礎的学習能力を身につける		○			◎	
TWK02	確率入門	選 択	1 年	数理・情報分野における確率の定義と基本的な性質を学習し基礎的学習能力を身につける		○			◎	
TWK03	統計学入門	選 択	1 年	数理・情報分野における統計学の考え方および基本的な性質について学び、簡単な統計量を求める能力を身につける		○			◎	
TWK04	マルチメディア表現	選 択	1 年	数理・情報分野における音、静止画、動画等の様々なコンテンツを理解し、これらを組み合わせた効果的な表現方法を身につける		○			◎	
TWK05	ネットワーク演習	選 択	1 年	数理・情報分野におけるインターネットの仕組みを理解し、簡単なLAN構築ができるようになる		○			◎	
TWK06	社会データ分析入門	選 択	1 年	数理・情報分野における統計データの扱い方と表計算ソフトの使い方を習得することにより、データの分析や表現と解析能力を身につける		○			◎	
TWK07	プログラミング	選 択	1 年	数理・情報分野におけるソフトウェアの仕組みを論理的に考え、簡単な機能構築ができる		○			◎	
TWK08	情報の科学	選 択	1 年	数理・情報分野における論理の操作、進数の変換、文字、画像、音声などの容量計算、文字データの検索や置換、表計算ソフトをつかったデータ処理の基礎的能力を身につける		○			◎	
TWK09	情報総合演習	選 択	1 年	数理・情報分野における基礎的情報リテラシー能力を身につける		○			◎	
TWK21	物質の科学	選 択	1 年	自然分野における必要な科学の知識と科学的素養、および物事を科学的論理的に分析できる思考能力を身につける	◎	○				
TWK22	地球の科学	選 択	1 年	自然分野における日本列島の地学的な特性を知り、災害、資源や環境問題を考えるための基礎的な知識を身につける	◎	○				
TWK23	宇宙の科学	選 択	1 年	自然分野における興味・理解度により、自然科学に対する苦手意識を無くすこと、興味を高める基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK24	科学技術史	選 択	1 年	自然分野における科学技術の歴史の概要を知り、それが人類文明の中でどのような意味があるかを理解する	◎	○				
TWK25	現代技術と社会	選 択	1 年	自然分野における様々な技術に関して、その原理と社会への影響を考えられる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK26	地球環境問題	選 択	1 年	自然分野における地球環境問題の本質を正しく理解し、対応を模索する基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK27	自然環境と地理	選 択	1 年	自然分野における基礎的な知識を習得し、自然環境の分析能力を身につける	◎	○				
TWK28	生物の科学	選 択	1 年	自然分野における生命操作技術として、遺伝子組換え技術や再生医療等に焦点をあて、生命活動の科学的基礎知識の習得により、安全で健康な生活とは何かを科学的論理的に分析・思考できる科学的素養を身につける	◎	○				
TWK29	生態学	選 択	1 年	自然分野における生き物の系統の重要性と、生き物が示すさまざまなパターンの意味を理解する視点を獲得する。また、多様な事象が相互にかかわり合っているという認識を得、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK30	動物行動学	選 択	1 年	自然分野における動物行動学に関する基礎的知見を身につける	◎	○				
TWK31	健康科学	選 択	1 年	自然分野における身近な健康問題から自身の健康管理の方法を学び実践する。我が国の死因の多くを占める生活習慣病について基礎知識を身につける	◎	○				
TWK32	スポーツ工学	選 択	1 年	自然分野におけるスポーツ工学やスポーツバイオメカニクスに関する専門用語や法則、研究手法等を実際のスポーツ場面に合わせ身につける	◎	○				
TWK33	トレーニング科学	選 択	1 年	自然分野におけるトレーニングの生理学的基礎・力学的基礎・生物学的基礎ならびに トレーニングの原理・原則 基礎的方法を身につける	◎	○				
TWK41	歴史学	選 択	1 年	社会分野における様々な歴史観を学び、歴史学の基本は史料から史実を見出すことが重要であることを理解し基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK42	考古学	選 択	1 年	社会分野における歴史を踏まえた基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK43	地理学	選 択	1 年	社会分野における日本列島の地理的性質と抱える課題を理解しつつ、世界的な視点で日本を把握する力量を養う	◎	○				
TWK44	社会学	選 択	1 年	社会分野における基本的な考え方や概念を理解し、説明できるようになる。社会学の基礎的な文献を読めるようになる。日常生活の中で遭遇する具体的な問題や出来事について、社会的事象との関連を想像しつつ考えられるようになる基礎能力を身につける	◎	○				
TWK45	情報と社会	選 択	1 年	社会分野における情報の送受に関して危険を回避できること、知的所有権や個人情報など基本的な法規について知識を得て権利侵害を回避できること、広告や評判システムのしくみを学び、賢い選択を可能にする基礎を築くこと、数量だけでなく、つながり方に注目して事象をみる眼を養うことを身につける	◎	○				
TWK46	レクリエーション論	選 択	1 年	社会分野における様々な対象者の交流について学び、地域の社会資源を積極的に調べ学ぶこと、レクリエーション活動を実施する際の情報収集・企画・実施・評価の手順を学び、手順にそった企画書が作成できる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK47	ジェンダー論	選 択	1 年	社会分野におけるジェンダーという概念を理解し、ジェンダー視点をもって社会のありよう、あるいは個人の生き方などを考える基礎的学習能力を身につける	◎	○				

カリキュラム・マップ(豊橋校舎 共通教育科目)

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
TWK48	政治学	選 択	1 年	社会分野における政治の機構(国会や内閣、官僚制など)や政治の過程(選挙、政党、利益集団など)の意義や働きを理解し、民主政治のあり方について考察できる分析力を身につける	◎	○				
TWK49	経済学	選 択	1 年	社会分野における現代経済の仕組みを理解し、基礎的な経済学を修得し、経済問題に際して自分で考えることができる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK50	法学	選 択	1 年	社会分野における法学の基本知識を学ぶことを通し、個人の尊厳性にもとづく人権の意義について考える力を身につける	◎	○				
TWK51	経営学	選 択	1 年	社会分野における企業をはじめとする経営に関して受講者が自ら問題を発見し、それを分析する力を身につける	◎	○				
TWK52	憲法	選 択	1 年	社会分野における憲法の基本的な原理やしくみを理解し憲法に基づいて物事を考える基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK71	哲学	選 択	1 年	人文分野における哲学の思考法について一定の理解を得ると同時に、今日の人文系諸学のパラダイムを概観し基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK72	論理学	選 択	1 年	人文分野における論理的に真である(正しい)とはどういうことかを理解し、日常生活でも論理的な正しさを実践できることを身につける	◎	○				
TWK73	宗教学	選 択	1 年	人文分野における宗教の様相を学ぶことで、宗教と社会との関係について理解を深め、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得する	◎	○				
TWK74	心理学	選 択	1 年	人文分野における教養としての心理学全般を学ぶ。学問としての心理学が扱うものと扱わないもの、できることとできないことの違いを正しく理解し、実社会における心理学の現実的な応用可能性について考えることができるよう基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK75	文化人類学	選 択	1 年	人文分野における文化人類学に関する基礎知識を得ること、文化人類学の方法を知り、文化について考察できる基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK76	現代の思想	選 択	1 年	人文分野における現代の問題について考えるための基本的知識を身につける	◎	○				
TWK77	民俗学	選 択	1 年	人文分野の民俗学における基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK78	スポーツ文化論	選 択	1 年	人文分野におけるスポーツが文化であることを理解・説明でき、次世代にスポーツ文化を正確に伝播できる基礎知識を身につける	◎	○				
TWK79	日本事情 I	選 択	1 年	人文分野における日本についての理解を深め、アンケート調査やレポート作成とその発表のスキル、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK80	日本事情 II	選 択	1 年	人文分野における日本の社会問題や社会事情についての理解を深め、それらについて自ら調べて発表する基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK81	文学	選 択	1 年	人文分野において、古今東西の文学作品の鑑賞を通じて、その表現、テーマを学び、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK82	日本語学	選 択	1 年	人文分野における日本語について多様な角度から、学問的知識を学び基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK83	古典の世界	選 択	1 年	人文分野における古典文学に親しみ、文字文化への興味を喚起しつつ読解力や表現力を高め、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK84	言語と文化	選 択	1 年	人文分野における言語と文化の特質を知り、世界におけるその位置と役割について知ることで基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWK85	芸術論	選 択	1 年	人文分野の芸術における自然や自由の意味を考え、基礎的学習能力を身につける	◎	○				
TWL01	総合科目 1	選 択	1 年	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける	△	◎	○			
TWL02	総合科目 2	選 択	1 年	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける	△	◎	○			
TWL03	総合科目 3	選 択	1 年	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける	△	◎	○			
TWL11	総合演習	選 択	2 年	共通教育各分野を総合的に包括し、演習形式授業にて専門教育科目に必要な学習能力を身につける	△	◎	○			
TWM01	スポーツ・健康演習	必 修	1 年	体育分野において、健康演習で得られた食生活および生活習慣病に関する知識に基づき、自分自身の生活を振り返ると共に健康的な生活を送るための生活プランを立てることができる 体力測定演習で得られた自分のデータに基づき、体力の維持・向上を目的とした無理のない運動プランを立てることができる 屋内・屋外種目として実施したスポーツ種目について、種目の特性を活かした身体運動を実施することができる 各種トレーニングについて目的に合わせたトレーニングを選び実践することができる	○		○			◎
TWM02	スポーツ実技 I	選 択	2 年	体育分野において、継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける	△		○			◎
TWM03	スポーツ実技 II	選 択	2 年	体育分野において、継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける	△		○			◎

カリキュラム・マップ(地域政策学部)

学習・教育目標	①【基礎知識】 地域政策学に関連する学問分野の基本的な考え方や理論を理解することができる ②【問題発見】 必要な情報を適切に収集・処理し、地域の問題を科学的に思考することができる ③【分析と考察】 現実の地域政策課題を分析・考察し、その結果を的確に記述・表現することができる ④【政策提言】 現実の地域政策課題を考察し、その結果を踏まえて、有効な政策を提言することができる
---------	---

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
					①	②	③	④
RPA01	学 習	法必修	1年	「高校までの教育」から「大学教育」への移行めざして、以下の5点を重点的にあつかう。1①文(章)構成的体系的な学習によって、アカデミックで論理的な文章が書ける ②スピーチ、ディスカッションなどの活動を通して、課題を発見し調査しテーマにふさわしい発表ができる ③グループ学習や「集い」、面談などを通じて、積極的に適切なコミュニケーションができる ④e-learningシステムや施設訪問などで「学ぶ」環境を身近なものとし、「自律学習」を行うことができる ⑤責任ある態度や主体性を確立するために、地域貢献活動や資格取得などに意欲的に取り組むことができる	△		△	
RPA02	研 究	法必修	2年	研究とその基本構造を理解できるとともに、研究技術の基礎を身に付ける。	◎	○	△	
RPA03	ゼ ミ ナ ー ル I	必修	3年	テーマを決め、計画し、アポイントを取り、訪問・インタビューを行い、その結果を報告書にまとめる。		○	◎	○
RPA04	ゼ ミ ナ ー ル II	必修	4年	テーマを決め、計画し、アポイントを取り、訪問・インタビューを行い、その結果を報告書にまとめる。		○	◎	◎
RPA05	卒 業 研 究	必修	4年	6月中にテーマを確定し、12月中旬に卒論を完成させる。		○	◎	◎
RPB01	地 域 政 策 入 門	必修	1年	公共政策とは何かを把握し、公共政策を中心的に担うローカル・ガバメントがどのような環境におかれ何をしているかを理解する。	◎	◎	○	
RPB02	現 代 日 本 の 政 治	選択	1年	現在の政治状況を見て、問題の所在を把握することができる。	○	◎	△	
RPB03	行 政	学選択	1年	行政の制度・組織・活動の基本を理解するとともに、政府機能の変遷とそれに伴う行政の変化を理解することで、行政国家における政治と行政、官と民のあり方について、自ら考察できる分析力を養う。	◎	○	△	△
RPB04	行 政 の 諸 領 域 と 法	選択	2年	行政に関する法制度の基礎的な事項と、その根底にある思考を理解し、社会で生じている事象と行政活動との関係を法的に認識できるようになることを目標とする。	◎	○	△	△
RPB05	地 域 行 政 論	選択	2年	1 地方自治の意義や制度の基本を正しく理解する。 2 自治体行政における組織や活動の実際を理解する。 3 近年の地方制度、行政をめぐる議論の背景や理論を理解する。 4 以上により、地域における行政に関する諸問題について、自ら考察することができるようにする。	◎	◎	○	○
RPB06	国 土 計 画 論	選択	2年	国土計画に関する基礎的知識の理解と、代表的な応用例の把握。	◎	△		
RPB07	地 域 の 自 治 と 政 治	選択	2年	1 地方政治の機構について理解する。 2 選挙や政党の働きを理解し、選挙を通じた住民参加のあり方を理解する。 3 直接請求や住民投票、政策形成過程への参加など、直接的な住民参加のあり方を理解する。 4 地域自治を理解する。 5 以上を通じて、地域における3つの回路の自治と政治の仕組みを理解し、現実の様々な事象を分析できるようになる。	◎	◎	○	○
RPB08	政 策 過 程 論	選択	2年	現実の政策過程を理解し、政策型思考ができる。	◎	◎	○	
RPB09	都 市 計 画 学	選択	2年	都市計画に関する基本的考え方の理解と代表的な応用例の把握。	◎	○	△	
RPB10	公 共 セ ク タ ー 論	選択	3年	政治・行政を分析・理解するための視座を習得することを目標とする。	○	◎	◎	△
RPB11	政 策 評 価 論	選択	3年	政策の目標設定の考え方や測定方法が理解できる。		◎	◎	○
RPB12	リ ス ク コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	選択	3年	主として食品と環境由来リスクの、科学的理解と回避における論理的思考方法と科学的リスクリテラシーの獲得を目標とする。		◎	◎	○
RPB13	現 代 経 済 事 情	選択	1年	経済学の基礎理論やキーワードを用いて、現実の経済問題を自分の頭で考える力を身につける。	◎	○	△	
RPB14	理 論 経 済 学	選択	1年	理論経済学の基礎理論を用いて、現実の経済問題を自分の頭で考える力を身につける。	◎	○	△	
RPB15	経 済 原 論	選択	1年	経済学の歴史やマルクス経済学を通して、資本主義経済の基本的な仕組みを理解する。	◎	○	○	
RPB16	財 政	学選択	2年	現代の国民生活と経済活動における財政の役割と仕組みの基本を理解する。また財政運営の基本としての財政民主主義とその発展課題を理解する。	◎	△		
RPB17	金 融	論選択	2年	これからのビジネスパーソンに必要とされる、金融リテラシーを身につける。	○	◎	○	○
RPB18	地 方 財 政 論	選択	2年	日本における地方財政の専門知識を習得する。また、実際の地方財問題を説明できるようにする。	◎	◎	○	○
RPB19	現 代 の 地 域 問 題	必修	1年	現在地域で起きている諸問題を理解し、地域政策の諸課題に関心を向けるようになる。	◎	○	○	
RPB20	自 然 環 境 論	選択	1年	地球環境問題を理解する前提として、自然環境の実態とその形成過程の基礎的な知識が得られる。	○	○		
RPB21	少 子 高 齢 社 会 論	選択	2年	少子高齢社会とは何かを説明ができ、少子高齢社会の課題を指摘することができるようになる。	◎	○	△	

カリキュラム・マップ(地域政策学部)

学習・教育目標	①【基礎知識】 地域政策学に関連する学問分野の基本的な考え方や理論を理解することができる ②【問題発見】 必要な情報を適切に収集・処理し、地域の問題を科学的に思考することができる ③【分析と考察】 現実の地域政策課題を分析・考察し、その結果を的確に記述・表現することができる ④【政策提言】 現実の地域政策課題を考察し、その結果を踏まえて、有効な政策を提言することができる
---------	---

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連			
					①	②	③	④
RPB22	地域コミュニティ論	選	択	2年	△	◎	○	○
RPB23	地域学概論	選	択	2年	◎	○	△	△
RPB24	地域生活史	選	択	3年	◎	○	△	△
RPB25	東海地域の今日的課題	選	択	3年		◎	◎	○
RPB26	インターシップ	選	択	3年		○		
RPB27	地域政策学特殊講義	選	択	3年		◎	◎	△
RPB28	GIS概論	選	択	2年	◎	◎	○	△
RPB29	GIS演習I	選	択	2年	◎	○		
RPB30	GIS演習II	選	択	3年	◎	△	○	
RPB31	地域政策とGIS活用	選	択	3年	△	○	◎	○
RPC01	公共政策論	選	択	2年	◎	◎	◎	○
RPC02	地方自治体論	選	択	2年	◎	◎	◎	○
RPC03	経済政策論	選	択	2年	◎	○		
RPC04	社会福祉政策論	選	択	2年	△		○	△
RPC05	自治体公務員論	選	択	3年	◎	◎	○	○
RPC06	国際通商政策論	選	択	3年	○	△	△	△
RPC07	交通運輸政策論	選	択	3年	△	○	◎	◎
RPC08	保健医療政策論	選	択	3年	△		○	△
RPC09	災害と防災	選	択	3年	○			○
RPC10	NPO	選	択	3年	△	○	◎	◎
RPC11	教育政策論	選	択	3年	△	○	◎	◎
RPC12	環境政策論	選	択	3年	△	○	◎	○
RPC13	労働政策論	選	択	3年	△		○	△
RPC14	食品安全政策論	選	択	3年		◎	◎	○
RPC15	文化政策論	選	択	3年		○	◎	◎
RPC16	経営法務論	選	択	2年	○	△	△	△
RPC17	地域産業論	選	択	2年	○	◎	◎	◎
RPC18	中小企業論	選	択	2年	△	○	◎	◎
RPC19	国際ビジネス論	選	択	2年	○	△	△	△
RPC20	現代科学技術論	選	択	2年	○	△		

カリキュラム・マップ(地域政策学部)

学習・教育目標	①【基礎知識】 地域政策学に関連する学問分野の基本的な考え方や理論を理解することができる ②【問題発見】 必要な情報を適切に収集・処理し、地域の問題を科学的に思考することができる ③【分析と考察】 現実の地域政策課題を分析・考察し、その結果を的確に記述・表現することができる ④【政策提言】 現実の地域政策課題を考察し、その結果を踏まえて、有効な政策を提言することができる
---------	---

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連			
					①	②	③	④
RPC21	日本経済史	選	2年	近代日本の形成・確立および展開について認識を深める。		○		
RPC22	近代産業技術史	選	3年	産業技術の発展を歴史的に見る視点や思考力が身につく。技術発展に伴う様々な課題に対する思考力が身につく。		○	◎	△
RPC23	地域統計論	選	3年	経済のグローバル化が地域の雇用や賃金、コミュニティに与える影響を分析できる技能を習得する。	△	◎	◎	△
RPC24	森林の管理と経営	選	3年	日本の森林が抱える問題について科学的に分析し、問題解決策を考える能力の習得を目指す。		○	◎	◎
RPC25	地域金融論	選	3年	地域金融を担う銀行員や取引先企業・自治体関係者にとって有用な知識と知恵を身につける。		◎	◎	○
RPC26	企業発展論	選	3年	戦後日本の企業発展についてさまざまな視点から考察するとともに、企業社会についての認識を深める。		○		
RPC27	東アジア経済事情	選	3年	日本の国、ビジネス、国民の視点から今後如何に関わるべきか、東アジア各国の経済事情を学び、それについて考えるための基礎的知識を得ること。	△	◎	○	△
RPC28	農業経済論	選	3年	私たちの暮らしにとって農業のもつ意義と課題が何かを、地域の身近な事例から考えることができる。若者の就業という視点から、農業を職業とすることの課題と可能性について、自分の意見を持ち、述べるができる。	△	○	◎	○
RPC29	協同組合論	選	3年	協同組合の歴史をふりかえり、なぜ協同組合が生まれたのかを理解できる。現代における協同組合の組織形態と活動内容および課題を自ら調べ、報告することができる。	△	○	◎	○
RPC30	地域産業史	選	3年	地域における近代産業の移殖・生成および展開について認識を深める。		○		
RPC31	貿易商務論	選	3年	国際物品売買取引と貿易手続の基礎を身に付けることができる。	○	△	△	△
RPC32	経済地理学	選	3年	経済立地の基礎理論を説明できる。基礎理論から現実の経済立地の現象を説明できる。経済地理の立場から政策の課題を説明できる。	○	○	◎	○
RPC33	水産資源論	選	3年	2014年度「水産資源論」の到達目標は以下のとおりである： (1)世界の水産業の展開と環境との関係を説明できる。【第1～3回】 (2)日本の水産業の歴史と現況、問題点を説明できる。【第4～6回】 (3)日本の主要な水産都市と漁村の発達と現況、抱える課題を説明できる。【第7～8回】 (4)日本の漁業文化（魚食・漁法）を、歴史・地理的に説明できる。【第9回】 (5)東海地方の水産業の展開と地域差を説明できる。【第10～14回】 (6)講義とレポート作成を通じ、水産業の多様性・多面性と、自然、社会、経済、歴史、文化が有機的に連関していることを理解できる。【第1～15回】 (7)講義とレポート作成を通じ、科学的な思考力と論理的に考える力の習得を目指す。【第1～15回】		◎	○	
RPC34	まちづくりとデータ分析	選	2年	統計資料などの既存データやアンケートやヒヤリングなど現地調査によるオリジナルデータの集められるようになること、収集したデータの種類に即した処理・分析できるようになること、得られた結果をどのようにまちづくりに生かしていくかについて考えられるようになることを最終到達目標とする。	△	○	◎	○
RPC35	生涯学習論	選	2年	生涯学習の基礎を学び、生涯学習活動を主体的に担うための力量を養う。生涯学習の意義や社会教育の仕組みが理解できる。	◎	○		
RPC36	ワークショップ演習	選	2年	さまざまな形のワークショップを、参加者として体験しながら、ワークショップという手法の一般的な特徴と、「地域を見つめ、地域を生かす」方法として、どのような場面でワークショップが有効なのかを理解できる。さらに、自分がファシリテーターとして実践可能な、具体的なワークショップのプログラム案を提案できる。	○	◎	○	△
RPC37	生活インフラ	選	2年	まちづくりに不可欠な生活関連インフラとして、特に公共交通と住宅に関する政策について理解できること。	◎	○	○	
RPC38	流域管理論	選	2年	流域を構成している山地、河川、海岸の形成と役割、その繋がりに繋がり役割を理解するとともに、流域を1つの系として管理するための知識を習得する。	◎	○	○	
RPC39	ワークショップとまちづくり	選	3年	ワークショップをファシリテーターとして行う実践を通して、その技法を自分のものとする。			◎	○
RPC40	中山間過疎地域	選	3年	居住地がどこであろうと、中山間過疎地域問題を自分の問題として理解できる。		○	◎	○
RPC41	エコ地域づくり	選	3年	環境問題を理解できる。環境政策立案の流れを理解できる。エコ地域を提案できる。	◎	○	△	△
RPC42	都市と水	選	3年	都市が抱える問題について科学的に分析し、問題解決策を考える能力の習得を目指す。	○	◎	◎	
RPC43	地域資源論	選	3年	「地理学」に関連する理論をもちいて、様々な地域資源の発見、活用を自分なりに理論立てて説明できるようになることを最終到達目標とする。	◎	◎	△	○
RPC44	創造都市	選	3年	「創造都市」とはどのような都市政策なのかを理解したうえで、新たな都市政策を提案できる。	△	△	◎	◎

カリキュラム・マップ(地域政策学部)

学習・教育目標	①【基礎知識】 地域政策学に関連する学問分野の基本的な考え方や理論を理解することができる ②【問題発見】 必要な情報を適切に収集・処理し、地域の問題を科学的に思考することができる ③【分析と考察】 現実の地域政策課題を分析・考察し、その結果を的確に記述・表現することができる ④【政策提言】 現実の地域政策課題を考察し、その結果を踏まえて、有効な政策を提言することができる
---------	---

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連			
					①	②	③	④
RPC45	コミュニティ・ビジネス論	選	択 3年	①コミュニティ・ビジネスが必要とされている社会的背景を理解し、具体的なマネジメントのあり方を理解することができる。 ②社会の課題を発見する能力を身につけ、その課題を解決するための手法としてコミュニティ・ビジネスを活用する力をつけることができる。 ③コミュニティ・ビジネスを具体的に起こすための「企画事業力」が身につく。	△	△	◎	○
RPC46	地域イノベーション論	選	択 3年	地域計画(産業振興等)に携わる基礎的な思考力が身に付く。	△	○	◎	◎
RPC47	地域通貨論	選	択 3年	社会的課題を自分で考え、見つける思考力を鍛える。 ワークショップを通してコミュニケーション能力を高めることができる。 プレゼンテーション能力を身につける。	△	◎	○	○
RPC48	地域文化論	選	択 2年	地域文化の歴史性と多様性を理解し、私たちが生きていく上で地域文化について考えることの重要性を認識する。	◎	○		
RPC49	ツーリズム文化論	選	択 2年	ツーリズムと文化との関わりについて理解し、ツーリズムによる新たな文化創造に関わるために必要な知識を持つことができる。	○	○	○	○
RPC50	英米の文化とツーリズム	選	択 2年	英米の歴史と文化について概観的に大きく理解する。それがひいては、ツーリズムへの理解へとつながる。	◎	○	○	
RPC51	地域の食文化	選	択 2年	東海地方の食文化の話題と見方の発話者となれるように。		○	◎	○
RPC52	地域史料講読	選	択 2年	江戸時代から明治年間に書かれた未刊行の文書や、一部刊行済みの記録について、それを読破して内容のある程度理解する力量を有するようになる。	◎	○	○	
RPC53	フィールドワーク方法論	選	択 2年	実際にフィールドワークに出掛ける前の予備知識として、民俗学・観光学・民族学・歴史学という4分野の学問によるフィールドワークの方法の基礎知識を身につけ、それぞれ実践に生かせるようにする。		◎	○	○
RPC54	言語と地域	選	択 2年	ことばと文化の関係、外国語とその文化を知ること、日本語、日本文化について考える力を養う。	○	◎	◎	△
RPC55	エスニック・アート	選	択 2年	異文化における造形美、芸術性への理解を深める。		○		
RPC56	地域史料研究	選	択 3年	江戸時代の史料(ここでは活字化された記録)の読解力を身につけ、江戸時代後期の東海地方、特に東三河の庶民の極めて豊富な年間行事の内容を理解する。	◎	○	○	
RPC57	ツーリズム政策論	選	択 3年	国や地域の観光政策について学ぶことによって、観光政策を提案するために必要な知識を持つことができる。	○	○	◎	◎
RPC58	フィールドワーク	選	択 3年	実際に調査地へ出向き、地域の人々から聞き取りを行って調査書に記録し、その記録を基に調査の成果をまとめ上げる能力を身につける。	○	◎	○	○
RPC59	食具論	選	択 3年	和食の基本的な考え方を理解する。	○	○	○	◎
RPC60	地域間交通史	選	択 3年	日本の古代から江戸時代までの交通史を大雑把に学んだ上で、江戸時代の五街道交通と宿場の構造を大体理解し、同時に東海地域(一部南信濃を含む)の内陸交通の実態を学びその多様性を理解する。	○	◎	○	△
RPC61	グリーン・ツーリズム論	選	択 3年	課題発見力、課題解決の構想力、若旅への行動力の形成を目指す。	○	◎	○	◎
RPC62	多文化共生論	選	択 3年	外国人集住地域から学び、「多文化共生」を自分の地域に引き寄せて問題点の発見や解決策について考察する。	○	◎	◎	◎
RPC63	世界遺産研究	選	択 3年	「制度」としての世界遺産について理解し、国や地域におけるその価値について説明することができる。	○	○	○	○
RPC64	健康・スポーツ政策論	選	択 2年	我が国の健康政策とスポーツ政策の概要が説明でき、今後の課題を述べることができるようになる。	○	○	◎	
RPC65	健康行動論	選	択 2年	目標1:健康行動に関する一般的な理論を説明できる。 目標2:健康行動に関する一般的な実験手続きを説明することができる。 目標3:健康行動に関する一般的な実験結果を考察することができる。	◎	◎	○	△
RPC66	スポーツ社会学	選	択 2年	地域社会でのスポーツリーダーに必要な体育・スポーツに関する社会的素養を身に付けることを目的とする。	◎	○	○	
RPC67	スポーツ・バイオメカニクス	選	択 2年	・筋の出力特性、筋の付着部位によるこの原理を図解できる。 ・慣性モーメントと回転運動について身近な動作を用いて説明出来る。 ・2次元動作解析により撮影された身体部位や用具の速度を測ることができる。 ・3次元モーションキャプチャシステム及びフォースプレートから得られたデータを用い、垂直跳びの動作解析ができる。				
RPC68	スポーツ経営学	選	択 3年	地域スポーツの事業目標を達成するために必要な経営マインドやマーケティング感覚を身につけることを目指す。	△	◎	○	
RPC69	ジュニアスポーツ論	選	択 3年	ジュニア期における発育発達の特徴を理解する。その知識を活用してジュニア期における指導に役立てることが出来る。		△	○	◎
RPC70	公衆衛生	選	択 3年	予防医学から社会福祉まで含めた広範な公衆衛生・地域保健活動の知識と実践について学ぶ。		○	◎	◎
RPC71	スポーツ・マネジメント論	選	択 3年	地域スポーツ事業の運営に必要なマネジメントプロセスを理解し、それを実践できるスキルを身につけることを目標とする。		○	◎	○
RPC72	スポーツ指導論	選	択 3年	スポーツ指導者に対する社会的要請内容やスポーツ指導方法について説明と、スポーツ指導計画の立案ができるようになる。	○	○	◎	△

カリキュラム・マップ(地域政策学部)

学習・教育目標	①【基礎知識】 地域政策学に関連する学問分野の基本的な考え方や理論を理解することができる ②【問題発見】 必要な情報を適切に収集・処理し、地域の問題を科学的に思考することができる ③【分析と考察】 現実の地域政策課題を分析・考察し、その結果を的確に記述・表現することができる ④【政策提言】 現実の地域政策課題を考察し、その結果を踏まえて、有効な政策を提言することができる
---------	---

科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連			
					①	②	③	④
RPC73	運動生理学選	択	3年	1 生理学用語の意味について理解を深める。 2 刺激-応答反応における生理学的メカニズムを理解する。 3 トレーニング内容とトレーニング効果の関係を生理学的に理解する。	○	○	◎	△
RPC74	スポーツ心理学選	択	3年	目標1: スポーツ心理学における一般的な理論を説明できる。 目標2: スポーツ心理学における一般的な実験手続きを説明することができる。 目標3: スポーツ心理学における一般的な実験結果を考察することができる。	◎	◎	◎	△
RPC75	セーフティ・マネジメント選	択	3年	1 傷害、事故予防に対する安全対策を理解できる。 2 事故時における正しい対処を理解できる。 3 心肺停止時の救命処置が理解できる。 4 急性症状への初期対応が理解できる。	○	○	○	◎
RPC76	スポーツ産業論選	択	3年	地域スポーツ産業の現状と今後の課題について理解することを目指す。		○	○	◎
RPC77	地域スポーツ運営論選	択	3年	地域スポーツ指導者とりわけ地域スポーツクラブのマネージャーとして、地域住民にスポーツの意義や効果について説明ができるとともに、地域住民とともにスポーツ活動の運営を行っていくようになる。	○	○	○	◎
RPC78	アダプテッド・スポーツ論選	択	2年	アダプテッド・スポーツの基礎知識を習得する。		○	◎	◎
RPC79	精神保健選	択	3年	・心のしくみについて理解する。 ・心の発達段階について、複数の学者による視点の異なる説を理解する。 ・各発達段階ごとに陥りやすい問題点についての知識をもつ。 ・認知症に関する考え方と対応の仕方を理解する。 ・カウンセリングマインドを理解する。		○	○	◎
RPC80	学校保健選	択	3年	学校保健を履修することによって、将来学校の教員やその他の職業に就いた場合に、児童生徒や自己の健康問題を把握し、その問題の解決を図ることができる。		○	○	◎
RPD01	ミュージアム展示論選	択	2年	ミュージアムの意義と知的なおもしろさを理解する。		○	△	
RPD02	競技者育成論選	択	3年	競技者を理解して、競技者にあった指導・支援ができる。	○	○	○	◎
RPD03	スポーツ方法Ⅰ選	択	2年	年齢に応じた陸上競技の科学的な指導ができる。	△	○	○	○
RPD04	スポーツ方法Ⅱ選	択	2年	柔道の運動特性を理解し基本動作や対人技能が身につく。	△	○	○	○
RPD05	スポーツ方法Ⅲ選	択	2年	1 バレーボールの技術的・教育的特性が理解できる。 2 個人・チームのプレーから課題を発見しアドバイス(段階的な目標を提示)することができる。 3 グループ活動を行うための教材を作成し発表することで計画力や発信力を身につけることができる。	△	○	○	○
RPD06	スポーツ方法Ⅳ選	択	2年	1 投打捕の基本的な技術を身につけること。 2 練習方法を体系的に理解し、覚えること。 3 一般的な戦術を理解すること。 4 ボール種による練習方法や戦術の違いを理解すること。 5 ゲーム運営、審判が出来るようになること。 6 生涯スポーツとしてのあり方(ルールや運営法等)を考えられるようになること。	△	○	○	○
RPD07	スポーツ方法Ⅴ選	択	3年	ダンスの特性を体得する。 カラダを通して、自己を表現する力が身につく。	△	○	○	○
RPD08	スポーツ方法Ⅵ選	択	3年	1 ウォータースポーツを実施する際の危険因子について列挙し、その回避策を説明できる。 2 周囲の自然環境を踏まえながら安全に楽しくウォータースポーツを楽しむことができる。 3 怪我の際のファーストエイドやCPRなどの救命法について説明することができる。 4 ウォータースポーツで使用する機材についてその機能と利用法を説明できる。 5 アウトドアスポーツを継続して実施していくための自然環境保護の具体的な方策を提言できる。 6 マリンスポーツ実施中に災害が発生した場合、実施場所に応じた危険回避行動を提言することができる。	△	○	○	○
RPD09	スポーツ方法Ⅶ選	択	3年	1 スノースポーツを実施する際の危険因子について列挙し、その回避策を説明できる。 2 周囲の自然環境を踏まえながら安全に楽しくスノースポーツを楽しむことができる。 3 怪我の際のファーストエイドやCPRなどの救命法について説明することができる。 4 スノースポーツで使用する機材についてその機能と利用法を説明できる。 5 アウトドアスポーツを継続して実施していくための自然環境保護の具体的な方策を提言できる。 6 スノースポーツ実施中に災害が発生した場合、実施場所に応じた危険回避行動を提言することができる。	△	○	○	○
RPD10	スポーツ方法Ⅷ選	択	3年	アダプテッド・スポーツ種目について現場で指導者として実践できるようにする。		○	○	◎